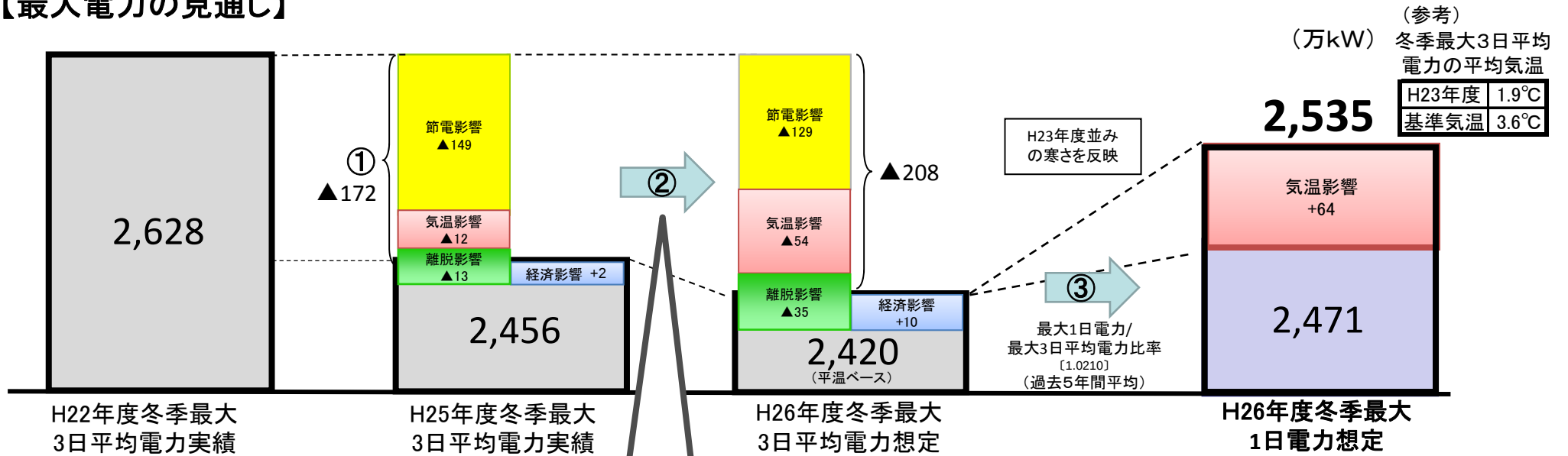


今冬の需給見通しについて

平成26年10月31日
関西電力株式会社

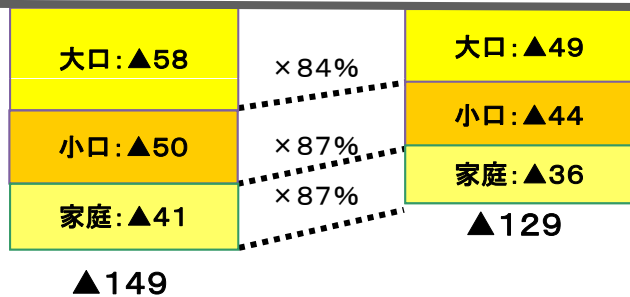
今冬の最大電力想定の方考え方について

【最大電力の見通し】



【②-1:節電影響の見通し】

(万kW)
H25年度冬季実績 H26年度冬季想定

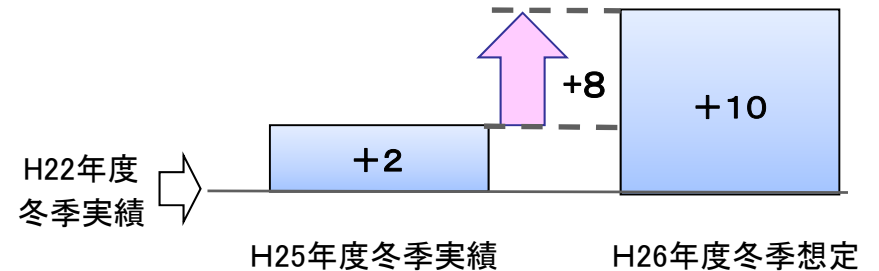


【節電アンケート結果 (H26.8実施)】

	継続率	サンプル数
大口	84%	518件
小口	87%	739件
家庭	87%	1,071件

【②-2:経済影響の見通し】

(万kW)



- ①: H25年度冬季における節電影響、気温影響、離脱影響、経済影響を、H22年度冬季実績と比較して算出しています。
- ②-1: 今冬の節電影響は、至近のアンケート結果に基づいた大口、小口、家庭別の節電継続率により、▲129万kWと想定しています。
- ②-2: 今冬の経済影響は、今後の景気拡大を織込み、H25年度冬季と比べ+8万kWとなる、+10万kWと想定しています。
- ③: H23年度並の厳寒を反映した今冬の最大1日電力は、最大1日電力/最大3日平均電力比率(過去5年間平均)を用いて、2,535万kWになるものと想定しています。

H26年度冬季の需給見通し(2月:原子力の再起動がない場合)

2

[万kW]

	①H25想定 (2月)	②H26冬想定 (2月)	差分 (②-①)	備考	
供給力ー需要 (予備率)	79 (3.0%)	77 (3.0%)		(凡例) ☆ 計上の考え方 ○ 昨冬との差分	
需要	2,576	2,535	▲41	○H23年度並厳寒を想定	
供給力(合計)	2,655	2,612	▲43		
原子力	0	0	0	☆稼働していない原子力は、再起動がない場合として計上しない	
水力	166	165	▲1	☆天候によらず安定的な供給力として下位5日の平均から算定	
火力	1,565	1,663	+98	○姫路第二4～6号 +146 (内、6号は試運転) ○定期点検 ▲45(H25:南港3、H26:海南2,海南4) ○火力増出力等 ▲3	
揚水	291	253	▲38	☆想定需要とベース供給力から算定	
新エネ	0	0	0	☆冬季は点灯ピークを想定しており、太陽光は供給力に見込めない	
他社・融通	633	532	▲101	☆必要予備力を確保できるよう調達を計画	
他社	481	472	▲9		
水力・揚水	53	54	+1		
火力	428	417	▲11	○IPPの契約満了に伴う減等(▲11)	
新エネ	0	0	0	☆冬季は点灯ピークを想定しており、太陽光は供給力に見込めない	
融通等	152	60	▲92	{○応援融通の減(▲103)[参考:応援融通受電量 H25:149、H26:46] ○新電力からの調達の増等(+11)}	

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

○原子力の再起動がない場合、姫路第二発電所の設備更新による供給力の積み増しや火力の震災特例の活用による定検繰り延べ等を行っても自社では供給力が不足する厳しい需給状況となりますが、他電力会社からの応援融通を受電することなどにより、最低限必要な予備率3%は確保できる見通しです。

今冬の需給見通し(原子力の再起動がない場合)

(発電端: 万kW)

		1 月	2 月
需要		2,535	2,535
供給力		2,612	2,612
予備力		77	77
予備率		3.0%	3.0%
供給力内訳	原子力	0	0
	水力	167	165
	火力	1,663	1,663
	揚水	258	253
	新工ネ	0	0
	他社・融通	524	532

- 今冬、当社管内では電力を供給する上で最低限必要な予備率3%を確保できる見通しではありますが、需要の想定において、定着した節電分として129万kW（平成22年度最大電力比▲4.8%）を見込んでいることから、この冬において、着実な節電・省エネにご協力を賜りますよう、お願いいたします。
- さらに、発電所のトラブルなど、不測の事態により、電力需給のひっ迫が予想される場合には、お客さまのご健康に影響を与えない範囲、ライフライン機能等の維持や生産活動に支障のない範囲で、可能な限りの節電にご協力いただきますよう、お願いいたします。

<参考：政府の節電要請内容および期間・時間>

要 請 内 容：国民生活や経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、「数値目標を伴わない節電」を要請する。

※需給見通しには、平成22年度最大電力比で▲4.8%(関西電力管内)の定着節電分の需要減少を見込んでおり、これは、節電を行うに当たっての目安となる。

期間・時間：平成26年12月1日（月）～平成27年3月31日（火）までの平日9時～21時
（ただし、12月29日（月）～12月31日（水）および1月2日（金）を除く）

<お客さまに節電にご協力いただくための主な取組み>

- ホームページにて、電力需給のお知らせ
- ホームページや検針票裏面等にて、節電・省エネのPR
- ご訪問や電気ご使用量のお知らせサービスの活用による節電・省エネのお願い

<需給ひっ迫時における需要抑制に向けた主な取組み>

- 瞬時調整特約による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- 通告ネガワット特約による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- BEMSアグリゲーターとの協業による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- 「みる電^(いこ) あったかECOとプロジェクト」による需要抑制の取組み（主にご家庭のお客さま）
- 「需給逼迫のお知らせメール」による電力需給のお知らせ

今冬の電力需給情報等のホームページへの掲載について

5

電力需給のお知らせ (11/28[金]項目切替)	【掲載時刻】 毎日9:30頃、18:30頃 【掲載内容】 毎日の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)[ピーク時、時間帯別]、予想最大電力、ピーク時供給力、需要予想[時間帯別]、需要実績[3分値、時間帯別]、供給力の内訳など(H26夏と同様)
週間電力需給のお知らせ (11/28[金]掲載開始)	【掲載時刻】 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) 【掲載内容】 翌週(平日月～金)※の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H26夏と同様)
翌々週の需給見通し (11/28[金]掲載開始)	【掲載時刻】 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) 【掲載内容】 翌々週(平日月～金の1点情報)※の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H26夏と同様)

※土日祝、12月29日(月)～12月31日(水)および翌年1月2日(金)は対象日から除く

【需給逼迫のお知らせメール】

電気の使用率が97%を超過する見込みとなった際、電子メールにてその時間帯をお知らせする「需給逼迫のお知らせメール」の新規登録の受付を、本日(10月31日(金))よりホームページにて開始いたします。(既にご登録いただいている場合は、改めてのご登録は不要です。)

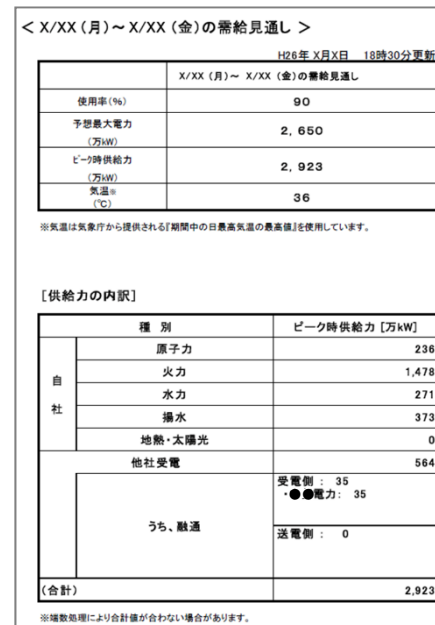
■電力需給のお知らせ



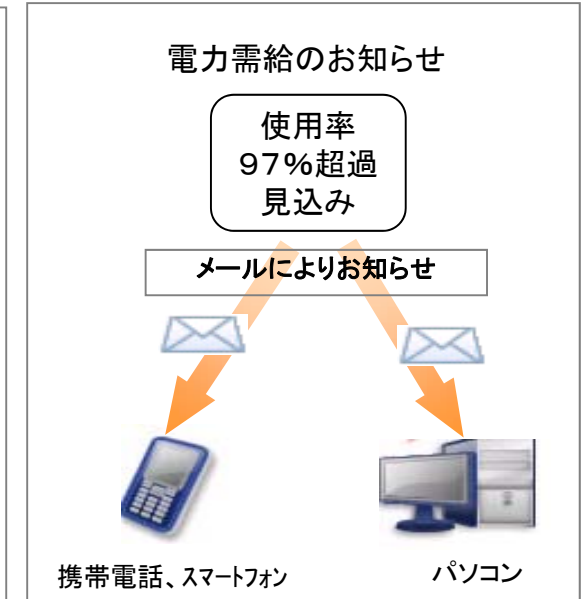
■週間電力需給のお知らせ



■翌々週の需給見通し



■需給逼迫のお知らせメール



※図はすべてイメージです

BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制の概要

参考1

内 容	当社の負荷調整要請に基づき、ビル等の空調・照明設備等の負荷調整・制御を行うエネルギー管理システム(BEMS)を導入されたお客さまに対し、負荷調整を働きかけ、ピーク抑制を実施いただけるアグリゲーターを募集
アグリゲーターの募集方法および時期	募集の周知方法：当社ホームページを通じて行う 時 期：平成26年10月31日～平成26年11月14日
実施期間	平成26年12月1日～平成27年3月31日
アグリゲーターへの主な委託内容	①上記実施期間までに、負荷調整にご協力いただけるお客さまの選定と負荷調整可能電力の報告 ②負荷調整時間帯において、BEMSを活用して①で選定したお客さまの負荷調整を実施 ③負荷調整の実施結果の報告
負荷調整の依頼タイミング	原則、需給ひっ迫が予想される日の前日の午後
負荷調整時間帯	平日の9時～21時の間で、当社が要請する時間帯
負荷調整の対象となるお客さま	当社管内の高圧受電(契約電力2,000kW未満)のお客さま

「みる電 あったか^(いこ) E C O と プロジェクト」の概要

参考2

内 容	電力需給のひっ迫が予想される場合に、節電のお願いのメールと合わせて電力需給ひっ迫時にご利用いただけるクーポンを送付し、お客さまに外出していただくことで、電力需要を抑制する
対 象	「はぴeみる電」(電気ご使用量お知らせ照会サービス)に登録いただいているお客さま
実施期間	平成26年12月1日～平成27年3月31日
送付タイミング	電気の使用率が97%を超過すると見込まれた場合 ※使用率が97%超過とならない場合であっても、本取組みの検証を目的に5～6回程度の試行を行う予定
クーポン利用可能時間帯	事前に当社より通知した日の17時～20時

【取組みの概要】

